

## 消化管感染症:臨床における最前線

司会 大阪市立総合医療センター消化器内科 大川 清孝  
琉球大学医学部附属病院光学医療診療部 金城 福則

消化管感染症は日常よく遭遇する疾患であるが、時として临床上大きな問題となることがある。例えば、IBD などの他疾患と誤診されることや、原因不明の疾患とされることなどである。内視鏡診断、腹部 CT 診断、腹部超音波診断、便培養をはじめとした原因微生物の同定方法、問診などをどのように駆使して診断するのか、間違いやすいポイントは何なのか、などについて疾患別、検査別など様々な切り口での発表を期待する。